

南インディアナ日本人補習校南インディアナ大学

留学プログラムの紹介

南インディアナ日本人補習校
校長 西村敬悦

南インディアナ日本人補習校留学プログラムは 2010 年夏に始まり、今回の 2017 年が 9 年目になります。これまで 23 人の方々がこのプログラムに参加され、週日は南インディアナ大学で学びながら、土曜日は南インディアナ日本人補習校で子どもたちに教えています。ここでは、このプログラムの魅力をご紹介します。

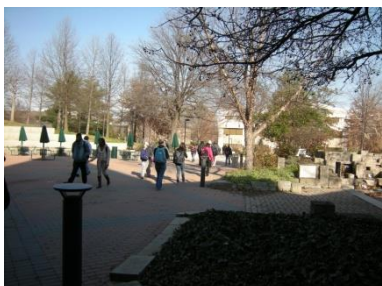


入学手続きが簡単で、安心

このプログラムの魅力は、米国の大学や大学院で学び学位を取得したい、米国の生活を体験したいと思っている人にとって、それを実現できる絶好の機会だということです。

米国の大学で学びたいと思っても、一体何から始めてよいのか、手続きはどうすればよいのか、どれだけ学費が必要なのか、学生として米国に長期滞るためのビザ取得はどうすればよいのか、どこに住めばよいのか、実際にやっていくことができるかどうか、わからないことや不安が多いと思います。

南インディアナ日本人補習校は、州立南インディアナ大学により運営されていますが、補習校と大学が連携し、留学生の皆さんが安心して大学に入学できるよう手続きをスムーズに行ってきています。



これまで受け入れた 23 名の留学生のうち、2015 年に入学された 1 名の方、2016 年に入

学された 2 名の方、2017 年に入学された 5 名の方の合計 8 名の方々が現在大学で学びながら本補習校で教えています。ほかの 15 名の方々は大学あるいは大学院を修了し、日本に帰国したり、米国に留まり働いています。

どの人も大学での学問に励み、補習校で教えることを楽しみ、安心して留学生活を送って頂いています。

授業料等が免除され給費が払われます

本プログラムでは授業料が免除され、給費・医療保険費が支払われます。

学士履修の場合（2017－2018 年）。

USI が支払う項目	費用
授業料と課税対象外費用 学士コース単位年間最大 30 単位	\$ 18,907
給費	\$ 5,400
医療保険費	\$ 1,522
2017 年度合計年間実績	\$ 25,829

修士履修の場合は、2 年間で修士学位を取得するのに必要な 1 年分の最大単位数分の 18 単位分 \$ 13,638 が免除され、上記の給費・ユニバーシティサービス料・医療保険費が支払われます。修士履修の上記合計年間実績額は \$ 20,560 です。

TOEFL の点数が入学基準点に満たない場合通常半年から 1 年間 IEP（集中英語講座）で学んでから学士や修士を履修します。その際 2019 年春学期 \$ 5,900 が免除され、2018 年秋学期分 \$ 5,900 はご本人の負担になります。集中英語講座履修の場合の上記合計年間実績額は \$ 12,822 です。

ご本人の負担額

学士・修士を履修される方の年間ご本人負担費用は以下の通りです。（2017－2018 年）。

項目	費用
教科書教材費（個人により異なります）	\$ 1,100
諸費用（申請費、入学費等）	\$ 1,194
大学アパートの住居費（12 か月分。光熱費を含みます）	\$ 6,600
食費（12 ヶ月分 フルミールプランのとき。自炊の大学の見積もりは 12 ヶ月で \$2,700 です。）	\$ 6,060
交通費（補習校通勤バス代 48 日分）	\$36
税金（個人により異なります。）	
2017 年度合計年間見積り額	\$ 14,990 + 税金

IEP（集中英語講座）を履修する方の年間負担費用は、2018 年秋学期授業料 \$ 5,900 がご本人の負担になるため、上記見積額は \$ 20,890 です。

なお、上記以外の日常の諸費用、日本から米国に来るための航空運賃、留学中に日本に一
時帰国するときの航空運賃、旅行、TOEFL、ビザなど、ここに述べられていない全ての
費用はご本人負担になります。

費用は通常留学の 3 分の 1 以下

本留学プログラムを通常留学と比べますと以下のようになります（「学士履修」の場合。）

	通常留学（\$）	本プログラム（\$）
授業料・諸費用	\$ 18,907	0
教科書代	\$ 1,100	\$ 1,100
諸費用（申請費、入学費等）	\$ 1,194	\$ 1,194
住居費	\$ 11,922	\$ 6,600
食費	\$ 6,060	\$ 6,060
給費	0	－ \$ 5,400
ユニバーシティサービス料	\$ 60	\$ 60
健康保険費	\$ 1,522	0
交通費	0	\$ 36
合計	\$ 40,765	\$ 9,650

上の表からおわかりのように、通常に留学したときのおよそ 4 分の 1 の学費ですみます。
これは、留学生の皆さんに本校で年間 48 日間教えて頂く代わりに、学費が免除され、医
療保険費を負担し、さらに給費を留学生の皆さんにお支払いしているからです。住居費は
本プログラム留学生は大学職員とみなされ、職員アパート代が適用されます。上記食費は
大学食堂でのフルミールプランの場合で、自炊の場合は \$ 2,700 の見積もりとなり、経費
削減ができます。

上記留学生費用のほかに、米国への渡航費用、日常生活費などその他の諸費用は留学生
の方々の負担になります。



多彩な履修分野

米国留学の夢を持つ人にとっての魅力は、米国の大学でアメリカ人の学生とともに、自分の希望する分野を英語で学び、英語で知識を吸収し、英語力を身につけるということです。

インディアナ州には 5 つの州立大学がありますが、南インディアナ大学は州南部の学問の府で、10,700 人の学生が学んでいます。これらの学生はインディアナ州内は勿論、近隣のケンタッキー州、イリノイ州のほか米国内の諸州から来ていて、外国からの留学生も多数います。

南インディアナ大学学士課程には、ビジネス、リベラルアーツ、サイエンス&エンジニアリング、看護衛生の 4 つの学部があります。各学部では以下の学問ができます。

学部	コース
ビジネス	会計学、ビジネス経営、ビジネス教育、コンピューター情報、コンピューターサイエンス、経済学、財政学、管理、マーケティング
リベラルアーツ	芸術、コミュニケーション、英語、歴史、現代言語と古典言語、パフォーマンスアート、哲学、政治学、心理学、ソーシャルワーク、社会学、考古学、法学
サイエンス&エンジニアリング	生物学、化学、エンジニアリング、地質学、数学、物理学、体育、教師教育
看護衛生	歯科衛生士、歯科衛生学、診断医療音波学、食物栄養、ヘルスサービス、看護学、作業療法学、作業療法助手学、X線技術学、呼吸療法学

修士課程には、以下の課程があります。

ビジネス、コミュニケーション、教育、健康、産業管理、リベラルスタディー、作業療法学、公共管理、看護、ソーシャルワーク

本プログラムは 2 年で学士や修士の学位を取得するものですが、そのために日本の大学で取得した単位や学位を南インディアナ大学が認定しています。日本で取得したものとかげ離れた分野を学ぶ場合、認定単位が不足し、取得必要単位数が増えたり、学業期間が長くなることがありますので、専攻を決める際には大学アドバイザーと相談する必要があります。



米国で働く機会の可能性

大学を卒業するときに F1 ビザの場合 OPT(Optional Practical Training)ビザを、J1 ビザのとき Academic Training ビザを申請でき、認められると OPT の場合 12 ヶ月間、AT の場合 18 ヶ月間延長して米国に滞在でき、自分の専攻に沿った職業に従事することができます。

本校で勤務された先生方の多くは卒業後日本に帰国されていますが、米国に留まって働いている先生もいます。

希望されれば、卒業後米国で働く機会の可能性があります。

快適な学生生活

大学のキャンパス内に学生や大学職員のためのアパートがあり、教室まで徒歩で行くことができます。アパートは、1戸を4人で共有するタイプと2人で使用するタイプがありますが、職員用は2人で使うタイプです。各寝室にはバスルームがあります。

食事は学食があり、そこでできますが、アパートにはキッチンと冷蔵庫があり、自分で料理をすることができます。

食材は簡単なものはアパートそばのコンビニで買うことができます。しかし、自炊をする学生は、大学から車で約5分のところにあるユニバーシティ・ショッピングセンターに行きます。ここにはウォールマートを初め各種の店舗群、レストラン、銀行、医院、ホテルがあり日常生活に必要な物品のほとんどを入手できます。

ウォールマートでは、日本のお米と同じカリフォルニア米や醤油、豆腐、枝豆、春巻き、カップラーメンなども購入できます。

このショッピングセンターには16のスクリーンを持つスタジアム形式のシネマコンプレックスもあります。

アパートや大学からはバスが週日出ていてエバンズビル市内のほとんどの場所に行くことができます。バス代はどこまででも学生は片道75セントです。

土曜はアパートからのバスはないので、朝は補習校が乗り合いタクシーを出しています。帰路は、土曜にバスが運休になるショッピングセンターからアパートの区間についてのみ本校がタクシーを出しています。



豊富な留学生のためのプログラム

大学では外国からの多くの留学生の世話や相談のためのインターナショナル・プログラムズ・アンド・サービスがあります。

ここでは文化交流理解のための楽しいイベントを催すほか、アメリカ人の友人を希望する留学生のために、外国文化に関心を持つアメリカ人の友人も探してくれます。2人で互いの言葉を学び、友人の輪が広がっていきます。

アメリカ人の家族と交流したい人のためには、ホストファミリーの世話もしてくれ、アメリカの家庭についても知ることができます。

インターナショナル・スチューデントズ・クラブでは、州内の百万都市インディアナポリスまでの一泊二日のバス旅行をしてくれます。40人以上の学生が1台のバスに乗り、インディアナポリスまで行き、ダウンタウンにあるドームスタジアムで大学フットボールを観戦したり、大きなショッピングモールでの買い物を楽しめます。費用は学生団体割引で格安です。

感謝祭の休日には、シカゴまで三泊四日のバス旅行があり、高層ビルに上ったり、高層ビルの谷間のブランド店でショッピングしたり、アメリカの大都会を楽しむことができます。

大河オハイオ川の町

大学のある町エバンズビルは人口が11万7千人で、インディアナ州では3番目に大きい市です。近隣の町を入れると都市圏は35万になり、州南部で最も大きな町です。

アパラチア山脈を源流とするオハイオ川は大河で、市のダウンタウンでは対岸が見えないほどです。この川沿いに、ピッツバーグやシンシナティのような大都市が発達しました。この川は隣のイリノイ州カイロでミシシッピー川に合流し、ミシシッピー川はメキシコ湾に注いでいます。

エバンズビルは1812年に築かれ、1847年に市として認可されました。

第二次大戦中はオハイオ川河岸で戦車上陸用の船が、現在のエバンズビル空港そばでは戦闘機が建造されたこともありました。



ダウンタウンのオハイオ川沿いはリバーサイドとして整備され、夕暮れ時には川を眺めながら散歩したり、ジョギングを楽しむ人たちが行き交います。

川に面して、銀行やホテル、企業の近代的な高い建物が立ち並び、ビクトリーシアターやザ・センターなどの劇場ではエバンズビル交響楽団の演奏やバレエを楽しむことができます。

ワシントンショッピングモールは州で最初の屋内ショッピングモールで、このモールのほかに、もう一つショッピングモールがあるなど、市内各所にスーパーマーケット、レストラン、多種多様な店があり、市民は安全な日常生活を楽しんでいます。

かけがえのない場所、補習校

留学生の皆さんは、大学で学ぶことを主たる目的として来て頂いていますが、週 48 日の補習校で教え始めると、土曜の補習校で子供たちに教えることが楽しみで待ち遠しいほどになります。

補習校は学校というイメージから、1 教室に数十人の生徒の教室を想像しがちですが、本校は全校で小学 1 年から高校生まで 55 人。先生の手数は 13 人。平均 1 教室 5 名と少人数クラスです。

先生方が自己紹介をした第一日目から先生方は、生徒の大人気になります。生徒は、先生方に教えて頂くのが楽しくてたまらなくなります。

小さな学校ですので、どの生徒も先生も互いによく知っていて、皆大きな家族の一員です。

昼食時間は先生も生徒も全員一緒に楽しく食事をします。生徒の弁当は、お母さんが週一回のために丹精こめたおいしそうな和食弁当です。

昼休み時間は大きい子どもが小さい子どもの面倒を見ながら一緒に、おにごっこやドッジボールをして過ごしています。冬には雪が降り、雪合戦です。

図書室には日本語の図書がたくさんあり、子どもたちは毎週図書を借りて家で読むことを楽しみにしています。百科事典や図鑑など、授業に役立つ資料も豊富です。

補習校には楽しい行事もたくさんあります。春は、全員で遠足に行きます。リンカーンが 7 歳から 21 歳まで過ごした農場や、鳥類図鑑で有名なオーデュボンにちなんだ州立公園、ロバート・オーエンがユートピアを築こうとした壮大な実験場ニューハーモニーが近くにあり、出かけます。



秋には、運動会があり、生徒、教員、保護者が、綱引き、玉入れ、リレーなどをともに楽

しみ、アメリカにいることを忘れてしまいます。

冬には学習発表会があり、生徒は劇や、調べたことを発表し、1年の最後の授業日を皆で楽しみます。正月には、どの生徒も書初めを楽しみ、できた作品は廊下に展示します。

子どもたちは月曜から金曜までアメリカの学校で英語で勉強をしていますが、土曜日には週1回の補習校を楽しみに、元気に保護者の皆さんの自家用車で通学しています。片道1時間半とか2時間以上かけて、スクールバスに揺られながら、近隣のケンタッキー州やイリノイ州からして通学している子どもも少なくありません。

子どもたちが補習校に通学するのは、ただ楽しいからではありません。

これらの子どもたちは数年間のアメリカ滞在を終えると、帰国します。

補習校は、これらの子どもたちが帰国しても、日本の学校で遅れることなく、十分についていくことのできる基礎学力をつけてあげる場です。

幸いにも、本校は少人数ですので生徒により多く触れ合うことができ、よりよく知ることができます。子どもの力に応じた指導をし易く、私たちはそれぞれの子供の持っている力を伸ばしてあげることができるよう努力しています。

勉強熱心な子が多く、さまざまな意見や考えが教室を飛び交います。子どもたちの色々な考えを知り、疑問を一緒に考え、教えることができます。子どもたちの勉強への興味がますます高まるように、私たちは工夫しています。

新しいことをわかりやすく教えることができるように、わかりやすい授業を心がけて教えています。

補習校は、教師も生徒も熱情を持って教え、学び、一日一日を楽しく、充実して送ることができる場です。



プログラム参加者の声

私にとって補習校での授業は癒されるひと時です。もともと子供たちや教育に関心がありましたのでこのプログラムに応募しましたが、教育現場とアメリカ生活を一度に体験することが出来て幸せです。アメリカの現地校に長く通っている生徒はアメリカナイズされていて自由な感じですし、日本から来たばかりの生徒は日本のきちんとしたスタイルで授業を受けています。私のルームメイトはアメリカ人です。生活と補習校の両方でアメリカと日本の違いを体験しています！（Aさん）

補習校で働きながら、大学に通え、学費が免除されますし、E S L I への入学制度があるので語学力が足りなくても、現地で補えることが魅力です。(Bさん)

英語を学ぶ機会を十分に与えられます。補習校の子どもたちや、保護者の皆さんの協力を十分に得ることができ、先生方にはいろいろと気にかけて頂いています。(Cさん)

子供たちに勉強を教えながら、自分も大学で学べ、少ない費用負担で大学生活を送ることができて満足しています。(Dさん)



応募方法と募集締切日

別添「2018年度南インディアナ補習校南インディアナ大学留学プログラム募集要項」をお読みのうえ、「申込用紙」に記入し「志望動機エッセー（英文500字）」とともに2018年2月23日までに下記メールアドレスまで送付下さい。2018年度は4名を募集します。皆さんの、留学プログラムへの応募を、心よりお待ちしております。

お問い合わせ先：

Keietsu Nishimura, Southern Indiana Japanese School, c/o Nativity Church, 3635 Pollack Ave., Evansville, Indiana, USA 47714

KNishimu@usi.edu

TEL: 011-1-812-471-1210 (日本から直通)